

金曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



札幌7区名 幻の「東南西北発中」

1971年に札幌上陸。屋根の色がカラフルで、瓦が当たり前の本州と違って珍しくて、いつも上を見上げて歩いていました。しかし、この時代は最終章とは言え高度成長期。街の至るところが工事中で、上ばかり見ていると、つまづくこともありました。前年に人口が100万人突破、さらに翌年に札幌オリリンピック開催を控え、地下鉄工事、ビルや住宅の建設ラッシュで大にぎわいだったのです。

喫茶店で知り合った不動産屋のおじさんが大もうけしたらしく、ある雪の日、貧乏な若者を夜の巷に連れ出してくれました。なんとゴム長姿でスキニーのナイトクラブに行ってしまったのです。

お店の女性たちに「タクシ1代のチップをやるぞ」となり、私も列に並びました。「お前はワシと一緒のタクシ1でいい」と一瞬で却下。美女と一緒に車内に肩をすばめば歩いて帰る算段だったのに残念なことをしました。こんなふうに街中が浮かれていたんですね。

その頃、札幌市が政令指定都市になり、区が七つできると発表されました。どう線引きし、どんな名になるか、安

酒を飲みながら夜な夜な激論したものです。東西南北は決定でしようし、中央区というのもできそうです。

当時の楽しみは酒と麻雀です。雀荘もたくさんあります。そこで思いついたのが、白石区と発寒区です。並べると「東南西北発中」となり、麻雀的に収まりのよい大変すてきな響きではありませんか。

東京や大阪などどんな大きな都市にも「発」で始まる地名はあまり聞かないような気がします。わが札幌には発寒があります。白石もですが、いずれも由緒ある地名で

広さも十分。名称を検討する会議の中にも麻雀好きがいて、きつとこんな提案もあったはずですが、不謹慎だと却下されたに違いありません。

豊平区も豊かな感じがするとてもよい名で、議論百出の中、「発」が「豊」に負けたのではないのでしょうか。この歴史ある地名を使わなかったのは痛恨の極み、返す返す残念でなりません。

ところで、後に厚別、手稲、清田が分区分しましたが、当時の我々の検討会でもその後の案はありました。麻雀パリの「萬子区」「筒子区」「索子区」です。残念ながら該当する地名はなかったのですが……。

今年には北海道と命名されて150年の節目です。これからは外歩きにも最適な季節。地名の由来などに思いを寄せながら、歴史巡りをするのはいかがでしょうか。